

平成25年度 部局長マネジメント方針

協働のまちづくり部長

なか お さとる
中 尾 悟



仕事に対する基本姿勢

わたしは、生を受けてこの方、東大阪市で育てられ、学び、遊び、就職し、家庭を持ち、子どもを育ててきました。そして、今日も東大阪市で生活しています。

このようなわたしが、平成24年4月に東大阪市役所に市民協働の専門部署として新設された「協働のまちづくり部」の初代部長として仕事に当たっていますことは、その職の責任の重大さに身も心も引き締まる一方、わたしの大好きな東大阪市のまちづくりを市民の皆さんと一緒に考え、実践できることをとても喜び、楽しんでいます。

市民の皆さんがこのまち東大阪市に住み続けたいと思ってもらえるよう、また他所の人が東大阪市に住んでみたいと思ってもらえるようなまちづくり、市民の皆さんが自分たちのまちは、自分たちでつくるんだと思ってもらえるようなまちづくり、「東大阪市版地域分権」の仕組みづくりを、市民の皆さんと一緒に知恵と力を出し合い、すすめていきたいと考えています。

地域のまちづくりに取り組んでおられる市民の皆さんを全面的にバックアップするため、市役所を挙げて取り組んでいきます。

平成25年度に取り組む重点課題

1 「まちづくり意見交換会」開催と「地域サポート職員」の配置

地域でまちづくりに取り組んでおられる団体や個人、これからまちづくりをやってみようと思う市民の皆さんが一堂に会し、地域のまちづくりの情報交換や連携を行える「まちづくり意見交換会」をリージョンセンターで継続して開催します。

また、地域の皆さんと市役所をつなぎ、地域のまちづくり活動を側面から支援する「地域サポート職員」を配置し、地域の実情に応じた「東大阪市版地域分権」の仕組みについて共に考えていきます。

東大阪市に関わるすべての人

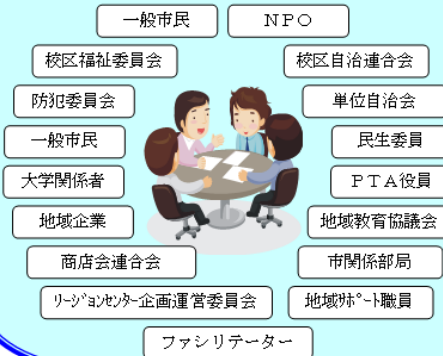


市民、事業者・従業員、学生など、東大阪市に関わるすべての人が、お住まいの地域に関係なく、**興味のある地域のまちづくり意見交換会に自由に参加**していただくことができます。

どこでも参加OK



まちづくり意見交換会



それぞれの地域のまちづくりや市民活動の状況など、まちづくりに関する意見交換を行う場です。相互理解を深め、新しい活動や団体間の新たな連携を創出し、活動の活性化を促します。

継続的に開催
初年度は年4～5回

意見交換会の運営をサポート



地域ごとに、行政経験豊富な**再任用職員**と、地域に精通した**一般公募の嘱託職員**を配置し、ペアで団体の課題解決や連携・事業企画をお手伝いします。

- ①地域の団体を訪問し、意見交換会へ参加を呼びかけます
- ②団体が抱える課題解決を支援します
- ③市の各部局との調整を行い、市が持つ情報を提供します

2 防犯灯・防犯カメラなどの整備の支援拡充

安全・安心なまちづくりにつながる、自治会の皆さんが自主的に設置管理する防犯灯や防犯カメラの整備に対する支援を拡充します。

防犯灯については、前年度に比べて金額で1.9倍、台数で1.5倍の設置助成を行い、より明るく環境に配慮したLED防犯灯の設置を促進します。

防犯カメラについては、前年度に比べて金額・台数で1.7倍の設置助成を行い、より一層の街頭犯罪の未然防止をめざします。

3 NPO法人・市民活動団体の活動支援の充実

NPO活動や市民活動の専門家である「NPOアドバイザー」をNPO・市民活動支援課に配置するほか、団体の設立や運営に関する実務研修会の開催を通じて、NPO法人の設立運営や市民活動に関する相談や情報発信、団体間の連携促進など、NPO法人・市民活動団体の組織や活動の基盤強化につながる支援を充実します。

また、NPO法人や市民活動団体の市民活動に関する情報が簡単に発信・共有され、連携や交流につながり、さらに多くの市民がこれらの活動により一層関心を持てるよう、インターネット [市民活動情報サイト「スクラムは〜と」](#) の機能を拡充します。